



ニュースリリース 平成 24年 9月 28日

**<企画展>「木のからくり楽士が奏でるオルゴールの世界」のご案内～常陽史料館～**

常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、常陽史料館(館長 館野 孝男)において下記のとおり企画展「木のからくり楽士が奏でるオルゴールの世界」を開催いたします。

城里町在住のオルゴール作家・塙道大<sup>はなわみちひろ</sup>さんは、人形が音に合わせて動く木製のからくりオルゴールを手掛けています。愛らしい動き、やさしい音色、そして木の温もりが相まってメルヘンの世界を堪能することができます。

東京で工業デザイナーとして活躍していた塙さんは、機械による大量生産に携わることに疑問を感じ、約30年前郷里に戻り手づくりオルゴールの制作を始めました。塙さんが制作するオルゴールは大きく2種類に分けられます。ひとつは1個のぜんまいによって音が鳴り、人形が動く小さなもので、主に個人で楽しむためのもの。もうひとつは電動モーターによって、多くの人形が多彩な動きをみせる数メートルもある大型のもので、主に施設などで展示し、来客や入館者に見てもらうものです。

これらのからくりが登場する人形は、チーク、マホガニー、メイプルなどさまざまな木材から色味、木目、質感などを勘案して最適なパーツを削り出し組み合わせたもの。いずれも単純化したフォルムながら、微妙な表情を感じ取ることができます。

塙さんの仕事の大半はからくり部分の制作ですが、オルゴールのメロディについても、その時の流行曲を追うのではなく、長く受け継いでいきたい曲を古今の名曲から選定し、作品にあわせて編曲をおこなうなど音楽づくりにも工夫を凝らしています。

本企画展では、山高帽をかぶった楽士たちがバイオリンやチェロを演奏する作品や、5名のパン職人がパン生地を伸ばすところから、おいしいパンが焼けたと誇らしげに窯からだすところまでを表現する作品など約10点を展示いたします。

つきましては、多くの皆さまにご覧いただけますようご高配を賜りたくご案内申し上げます。

## 記

- 会 期：10月2日(火)～11月25日(日)
- 休 館 日：毎週月曜日
- 開館時間：10：00～17：45
- 会 場：常陽史料館 アートスポット(入場無料)